

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
I T	2 単位 I Tエンジニア	情報システム論	花田 経子	2 年次	秋

授業のキーワード	情報システム、システム開発、プロジェクトマネジメント、システム管理、情報セキュリティ
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	企業で活用されている“情報システム”の構造を理解し、その構築プロセスや開発手法、プロジェクト管理など、システム開発に求められる要素を学ぶ。また、業務におけるシステム化において重要な情報化戦略やシステムの評価、システム管理、セキュリティマネジメントなどもあわせて学ぶことにより、IT 技術者を支える要員の育成を目指す。
履修のアドバイス・前提科目等	【履修するとよい他の科目】 (1)IT エンジニアユニットの他の科目(コンピュータ科学Ⅰ/Ⅱ、プログラミング入門)、(2)経営情報論 【アドバイス】 システム障害などの最新事例を積極的に取り上げますのでニュースや新聞をチェックしてください。社会科学系大学への編入・IT 系企業への就職を希望する学生は受講が望ましい。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	講義ガイダンス、現代社会と IT	講義運営方法、情報システムとは何か、情報システムを学ぶ意義、高度情報化社会とインターネット	第 9 講	情報システムの開発と運用(2)	情報システム基本計画・設計・プログラミング・テストに至るまでの過程とドキュメント
第 2 講	情報システムの事例	コンビニエンスストアの情報システム事例	第 10 講	情報システムの開発と運用(3)	プロジェクトマネジメント、作業進捗管理手法
第 3 講	情報システムの概要と管理	情報システムの分類、システムの構成要素、システムのライフサイクル、システム管理、IT 技術者の分類	第 11 講	情報システムの開発と運用(4)	構造化技法とその表記法
第 4 講	情報システムと RASIS(1)	情報の処理方式、システムの信頼性とその評価(RASIS)、稼働率	第 12 講	情報システムの開発と運用(5)	品質管理、変更管理、システムの運用と保守、ドキュメンテーション
第 5 講	情報システムと RASIS(2)	稼働率(続き)、データインテグリティ、誤り制御	第 13 講	情報システムを取り巻く課題(1)	IT 統制と IT ガバナンス、システム監査、IT 技術者が果たす役割
第 6 講	情報システムと RASIS(3)	システムの冗長化、障害を減らす工夫	第 14 講	情報システムを取り巻く課題(2)	最新技術動向、情報セキュリティ、リスクマネジメント
第 7 講	情報システムと RASIS(4)	システムの性能評価の技法	第 15 講	試験	
第 8 講	情報システムの開発と運用(1)	システム開発とライフサイクル、システム開発モデル、開発手順の概要	評価方法	(1)平常点(出席含む) : 30% (2)小テスト : 30% (3)定期試験 : 40%	
備考 (関連する資格・試験等)	☆関連のある資格 : 情報処理技術者試験・IT パスポートおよび基本情報処理技術者。 ☆担当者メッセージ : 身近な情報システムを中心に話を進めます。システム障害やトラブルなどが判明した場合は、それらを反面事例として紹介していきます。そのため、若干シラバスの順番とは異なる場合があります。				
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
『コンピュータ概論——情報システム入門』, 石原・魚田・大曾根・斉藤・出口・綿貫共著, 共立出版 (注 : 1 年次『情報処理』の教科書と同じ)					